

たかはぎし 議会だより

No. 105

2009年 11月5日 発行

発行 高萩市議会

発行責任者 議長 篠原新一郎

編集 高萩市議会だより

編集特別委員会

〒318-8511 茨城県高萩市本町1-100-1

電話(0293)23-5373



(シリーズ中学校)

高萩中学校

主 な 内 容

市政に対する一般質問……………	2
議案に対する質疑……………	7
討論……………	8
議案等審議結果……………	11
請願・陳情審議結果……………	12

去る9月29日、第3回臨時会が開かれ、第3回定例会で議員提案により可決された条例の修正案、条例の一部改正について市長から再議に付され審議しました。また条例の一部改正、補正予算が提案され審議しました。

平成21年第3回臨時会

去る9月4日から25日までの22日間の日程で、第3回定例会が開かれ、市長から人事案件、条例の一部改正、補正予算、平成20年度各会計の決算認定ほか提案され審議しました。また議会最終日に議員から条例の一部改正3件、意見書案5件が追加提案され審議しました。

平成21年第3回定例会

八木陽子 議員

新型インフルエンザについて

質問 国内では新型インフルエンザの感染が続いており、ウイルスが毒性に変わると急速に集団感染が拡大すると言われ、特に小児のインフルエンザ脳症は国内で7例報告されており、高萩市として、新型インフルエンザ対策マニュアルはどうなっていますか。特に小児対策について詳しくお聞きしたいと思います。

乳幼児が感染し重症化した場合、小児専用人工呼吸器の確保状況や集中治療対策などの答弁もお願いいたします。また、新型ワクチンの接種順番やワクチンの不足対策についてもお聞きいたします。さらに新型ワクチン、季節性ワクチンの接種費用は121自治体が公費接種を決めたそうです。高萩市として新型ワクチン肺炎球菌予防接種に助成金投与は考えていないのかお聞きします。

総務部長 新型インフルエンザへの対応につきましては、県の指導のもと、市内の医療機関と連携を図りながら特にお子さんが重症化した場合、小児科医の指示を受け対応してまいります。

市民生活部長 新型インフルエンザにおいて、市内の医療機関における小児専用人工呼吸器と集中治療室の確保について、市内には小児の入院

ができる病院はありませんので、それらの準備はありません。日立総合病院に配置されておりますのでよろしくお願いいたします。接種対象者やワクチンの必要数の確保が検討されている段階です。また厚労省から優先順位が検討され、間もなく指針が示されると思います。補助については、今後国や他の市町村の動向を踏まえ、調査研究してまいります。肺炎球菌ワクチン接種の補助は、重症化を防ぐこと、医療費の削減につながる効果があることから、今後調査検討してまいります。

質問 新型インフルエンザマニュアルは漠然ではなく、きめ細かな対応が必要ではないかと思えます。また入院施設がないため日立総合病院に患者が集中し、パニックが起きると思います。それを避けるため、トリージ（振り分け）が必要ではないでしょうか。軽度、中度、重度と分けて患者さんが集中しないようにすべきです。また小児専用の人工呼吸器を持っている病院はいざというときのため把握しておくべきです。ワクチン不足時は肺炎を防ぐ肺炎球菌の接種が有効であると医師会でも言っております。再度助成金の検討をお願いいたします。現状の小児科の医師不足や小児治療体制の改革を国政に訴えていくべきです。

その他の質問事項

○ 介護保険外のサービスについて

寺岡七郎 議員

ごみ処理について

質問 高萩の重要な課題はごみ処理である。しかし残念ながら今のところ無策の状態であり、その政治責任は重大である。ごみ処理には堆肥化あり、炭化あり、焼却などがありますが、いずれも極めて疑問があり、そこで文教厚生委員会は新しい施設であるプラズマ方式による処理施設を視察しました。この施設の特徴は、ごみをごみとして扱うのではなく、新たな製品を作り出す資源として考えております。再生品目は電気、ガス、建設材を作ります。高萩市でこれから新しい施設を造るならば、プラズマ処理方式も選択の一つとして研究する必要があると思うが、2点目に、市長は高萩単独ではごみ処理はしないと言いつけるが、だとするならば茨城との広域か、民間処理か、一体どの道を選択しようとしているのか。

3点目に、北茨城との広域、あるいは民間処理として、PFIも高萩として研究する必要があると思うが、4点目に、いかなる機種を選択し、いかなる処理体制をとろうが、どこで処理するかである。民間でごみ処理をしたいと言ってTK-2を買いに来た業者を断ったと聞いておりますがなぜ断ったのか。

市民生活部長 プラズマ方式は灰溶

融施設として電気式溶融炉に位置付けられ、全国でも稼働実績がございます。しかし今は方式を検討する段階ではないと判断しております。

市長 隣接市事務レベルでの情報交換の再開、基本計画の改定等のための県との協議を行ってまいりました。PFIは民間のノウハウ、それから資金等を活用する制度で、公共性、効率性などを総合的観点から慎重かつ適切に検討をしなければならぬと思います。

本市の企業誘致方針、すでに交渉中の企業があったこと、現在でも交渉に変化がないことから、新たに検討することはありません。

質問 今は方式を判断する段階ではないと言っているが、ごみ処理施設がなくなると数年経っているのに、何を審議しようが遅すぎた審議である。北茨城との経過は何も情報が入って来ない。何もやっていないのではないか。

PFI処理方式を責任を持って行政が選択すれば、それは行政の責任で処理したことになる。自治体の責任を放棄したことにはならない。

TK-2は、11億で処分される予定であり、高萩の財政を大きく変えていく。また企業誘致は税収や地元雇用、人口増加を期待している。土地の処分のあり方は、複数の申込みがあった場合、どちらが高萩にとってプラスかが判断の基準である。

鈴木修二 議員

浜野町踏切より6号国道間の

歩道の設置について

質問 以前にも一般質問をしてお願
いしてありますが、その後の取り組
みと状況について、再度お伺いた
します。

常磐線より東側には、店らしい店
もなく、毎日の食料品はもとより、
雑貨類の買い物も西側の大型店に行
き来している状況であります。

まちの中に東西を結ぶ通路は4か所
ありますが、自転車を通れる平坦な
ところは浜野町の踏切ただ1か所であ
り、高萩中学校の生徒たちも通学
路として往來をしております。踏切
から6号国道の間、約200メート
ルの間に、市道1403号線には左
右に歩道がなく、大変に一日中車も
多く、歩行者も多く、道路の幅員は
大変に狭隘に見え、車道と歩道の白
線も引いてなく、大変に危険な道路
に思いますが、その後の取り組みに
ついてお伺いいたします。

2点目の質問は、踏切付近の冠水
対策についてお伺いいたします。

福田薬局のところは、大雨のたびに
冠水状況が以前より一段とひどく見
受けられます。車が通りますと波を
打って通行人には大変です。時間によ
っては通行量も多く、高齢者と学
生は大変に苦勞をして通っているの
が現状であり、今後は中途半端なこ

とではなく、強制的な排水の設備を
設けることが肝要かと思えます。

管理者の今後の考え方取り組みに
ついてお伺いいたします。

建設経済部長 もとの信栄家具セン

ター等の建物が建っておりましたの
で、なかなか歩道の概成ができなかつ
たような状況にあります。このこと
につきまして、市道1401号線の
東西路線及び市道1403号線、J
Rと並行いたします南北路線の交差
点付近の側溝の勾配、あるいは利用
路の方向等について今年度に現地調
査を行い、もとの稲葉石油より信栄
家具センターまでの間、50メート
ル程度でございますが、舗装工事等を
実施いたして、歩行者の利便性を図っ
てまいりたいと考えております。

2点目の浜野町踏切の冠水対策に
ついては、今後の対策といたしまし
ては、JR常磐線内の排水路に堆積
しております、土砂等の搬出を定期
的に行い、維持管理に努めてまいり
たいと考えております。現在しゅん
せつにつきまして、JRと協議を進
めているところであります。



舟生佳紀 議員

山間地の活性化について

質問 高萩の地形は、山間地が8割
を占めます。山間地の活性化なくし
て高萩の活性化は望めないと思いま
す。山間地の活性化については、射
爆場、ゴルフ場、スキー場、林間住
宅、墓地、数えればきりがありません。
しかしその事業はすべて頓挫し、
限界集落、耕作放棄農地、住む人の
ない家、山間地には問題が山積して
おります。山間地域の振興を目指し
ての取り組みを伺いたい。

市長 まちの活性化を考えた場合、
山間地の取り組みが非常に重要な行
政課題となっております。これまで
も花貫溪谷周辺の観光施設の整備、
小山ダム周辺の環境整備、携帯電話
の鉄塔整備などに取り組んでまいり
ました。新たな取り組みを始めた、
総務省の認定を受けた地域力創造ア
ドバイザーの支援を受け、地域の皆
様を初め、里山づくり委員会やNP
O法人里山文化ネットワークなど関
係団体の協力をいただきながら、活
性化に向けた取り組みを始めている
ところであります。高岡地区の光ファ
イバー網を整備することにより情報
格差を解消し、地域の皆さんの生活
向上と社会経済活動の活性化を図っ
ていきたいと考えております。

質問 こころの里、美しい言葉です。
また、夢のある言葉でございます。
市長の考えるこころの里はどういう
ものなのかお聞きしたい。

市長 20世紀は、科学の世紀と言わ
れ、21世紀は、精神文明を迎える時
代になるのではないかと。20世紀とは、
21世紀はパラダイムが変化する時代
性を見つめたとき、高萩には自然が
豊富にあります。また感性を養い、
心豊かにする文化や歴史も有してい
ます。この得がたい地域資源を有す
る高萩には、21世紀に大きな可能性
を感じております。精神文明社会の
到来などを踏まえ、21世紀における
具体的な戦略として示したものが、
こころの里シティであります。

市内を4つの里のゾーンに分け、
それぞれの地域が有する潜在的な資
源を引き出しつつ、それらを活用す
る取り組み方針を示した。これらに
より子どもたちから高齢者までのす
べての人が、市の地域資源に触れて
感性をはぐくみ、心をいやし、豊か
にするまちをつくることが到達点。
質問 こころの里シティを標榜して
いるなら一生懸命やっている盆踊り
や花火大会や灯籠流しに、市長に招
待状を出しても来てくれない。これ
は言葉（里浜）と行動が裏腹ではな
いのですか。「巧言令色少なし仁」こ
の言葉を申し上げ、質問を終わります。
答弁はいりません。

中井信行 議員

高萩市行財政健全化について

質問 23年度末までに市財政の単年度黒字化を目指すとしています。市民経済は企業も含め異常に低迷しています。無駄な支出はだめですが、

単年度黒字化目標設定固定化は、ますます市民生活を困窮させます。すでに国では、この目標設定を大幅に先送りするとしています。収入と支出のバランスを見ながら中庸をもって財政の健全化を図っていただきたい。このほどの財政指数のポイントアップは、一方的に市民負担を強い結果に他なりません。市長とは見解を異としますが、これでは政治ではありません。まちの活力は細るばかりです。

市長 行財政健全化計画では、歳入歳出の均衡を図ることが重要な課題であると認識しています。引き続き持続可能な自治体運営の確立を目指します。

耕作放棄地対策について

質問 食料の自給率が40%などと言われる今日、当市でも耕作放棄地が大きな問題となっています。放棄地の拡大は、地域の崩壊にもつながりますが、どのくらいの規模ですか。また、この問題で協議会ができますが、運営の内容はどうですか。農業

の専門家である市農業委員会の係わりについてもおたずねします。

市長 食料事情においても、優良農地の確保には、耕作放棄地の解消を図る必要があります。市や農業委員会を中心に、高萩市耕作放棄対策協議会を設置しました。

建設経済部長 少し前の統計ですが、耕作面積580.3haに対して遊休地は約150haで約27%となっています。この協議会は、耕作放棄地再生利用推進交付金を活用して運営し、現状の把握を行い、再生利用に係わる詳細調査や利用調査等を行います。

農業委員会会長 農業経営基盤強化促進に関する基本的な問題として取り組んできましたが、耕作放棄地に対してあらためて市、農業委員会、JA等一丸となって対応してまいります。

学びの広場について

質問 最近この事業が行われましたが、児童の反応はどうでしたか。5校でそれぞれ計10時間行ったのですが、この少ない時間で学習効果は望めるのでしょうか。

教育長 市ではこれまでも長期の休業中に学習相談を実施して来ましたが、児童たちにとって好評なので、日々の授業でもこの取り組みを計っていきたくと考えています。

平正三 議員

ごみ処理問題について

質問 ごみ処理問題は、現在まで3代の市政にわたって解決できない課題となっており、市民にとって一日も早い解決を望んでいる。自らのごみ処理施設建設を断念したのは、新たな土地がなかったのか、炭化処理方式がだめだったのか、その理由について伺いたい。

市長 最終処分場に想定外のごみの埋設が確認され、今後の整備方針をリサイクルセンターのみとする決断をした。今後ともあらゆる可能性を踏まえて取り組んでいく。

質問 日立市のごみ受け入れが9月30日に期限がせまっているが、今後の受け入れについてどう対応されているのか。

廃プラスチック処理は、現在のまま不燃物として収集し、行政みずからリサイクルセンターで分別処理すべきと考えるが、どのように検討しているのか伺いたい。

市民生活部長 日立市から9月7日付けで平成22年3月31日まで委託契約する回答を得ている。廃プラスチック処理については、市民の負担軽減とか、課題を整理し、分析を行っている。

新型インフルエンザと肺炎球菌ワクチン接種助成について

質問 新型インフルエンザの重症化を防ぐ効果がある肺炎球菌ワクチン接種について、高萩市は、平成18年度に県内初めて肺炎球菌ワクチン接種助成を行ってきたが、健康や命よりも金を優先する行財政健全化計画によって平成20年度で廃止された。秋の新型インフルエンザ流行期を迎え、肺炎球菌ワクチン接種助成の再開をすべきと考えるが伺いたい。

市民生活部長 実施時期を含めて、調査検討させていただきたい。

常会長手当について

質問 行財政健全化計画により、平成20年度から常会長手当（連絡員報酬）が廃止された。これまで常会長手当を支給した理由と廃止した理由について伺いたい。

総務部長 市報、週報など各世帯に配付をお願いしたことにより連絡員報酬を支給した。事務事業のゼロベース見直しで廃止した。

質問 文書の配布を現在も行っている。また、常会の組織を使って市は金も集めている。平成20年度実績で社協会費、赤い羽根募金、歳末助け合い募金、共同募金など合わせて166万7千390円になる。常会は住民の自主的組織で、市の下請機関ではない。当然、報酬は支払うべきである。

総務部長 事務事業のゼロベース見直しで廃止した。

鈴木英樹 議員

学校教育について

①全国学力テストについて

質問 競争力を高めて学力を図る全国学力テストを実施したところで、

まさに、急激に学力中心主義に移行させたわけです。ゆとり教育を実施して5年足らずで学力中心主義に移行した文部科学省の一連の対応、私は、一つの制度の善し悪しを判断するには、少なくとも10年ぐらいのスパンが必要で、これが常識だと考えているわけですが、文部科学省の対応についてどう考えるか伺う。

教育長 学習指導要領の趣旨を十分に踏まえて、一人ひとりの児童生徒の確かな学力の定着とか、健やかな体の育成、あるいは豊かな心の育成に向け、努力したい。また、短いスパンで急に学力を上げることは非常に難しい。

質問 本年4月に行われた学力テストの結果が公表されました。各学校の結果について、今後の市の学力向上や教育充実のために、どのように役立てていくのか。また、学力テストを受けるに受験対策したのか。

教育長 高萩市の指導で優れている点、改善を図らなければならない点を分析し、日々の授業に生かすよう指導しています。点数を上げるためのテスト対策的なことはしていません。

質問 結果の公表は、以前にもお聞きしましたが、学校の序列化、あるいは過度な競争につながるおそれが払拭できないため、学校名を明らかにした公表は行わないということか。

教育長 結果の公表については控える方針をとっております。

質問 結果については、公表し父兄に確認させることが大事と考える。

教育長 公表は今後の課題と思います。競争につながるかどうかどうか慎重に見極めなければならない。

②家庭教育について

質問 家庭教育の低下が指摘され、また、少年非行や児童虐待の問題などが深刻化する中で、家庭教育の協力支援が最優先する重要課題であると考えます。

教育長 PTA活動の中で、子育てについての情報交換を行ったり、保護者会や学校だよりによって、子ども達の状況を家庭に伝えたり、家庭教育の啓発を行っています。

質問 スポーツ少年団の子は、礼儀正しく、ことば使いはよい。団体生活を取り入れることが、非常に肝要である。

教育長 スポーツの振興とか体験活動の充実ということで、そのとおりだと思います。

今川敏宏 議員

国の経済対策と

市の取り組みについて

質問 政権交代が現実のものとなった今、行政、市民サービス、市民生活に空白が出来ないよう、また政治の変化に地方自治体が迅速に対応しなければ、市民生活が大混乱し、政権交代への期待が、失望・脱力・怒りにならないようにしなければなりません。そこで以下三つの視点から質問します。

1 点目は政権交代の影響について、今後、民主党のマニフェストに基づき政策が実行され、いわゆる革命的变化はどのようなものか。昨年からの旧自公政権が行ってきた経済対策で、高萩市が行ってきた事業施策や、今後予定していた事業施策がどのような影響を受けることになるのか。事業施策別に伺います。また特に、民主党のマニフェストでは後期高齢者医療制度を廃止するのとことです。そのことによる市民の保険料や税金などの負担や、制度改正にかかる労力・費用をどのように見ているのか伺います。

2 点目、健全化計画の見直しについて、

今後、民主党のマニフェストにあるように、新政権による税制改革や交付税・交付金の見直しがなされれば、当然我が市の財政健全化計画も

見直さなければならないと思います。所見を伺います。

3 点目、新政権へのスタンス、アプローチについて、

新政権になると、これまでの国に対する働きかけや人脈が通用しなくなるのが考えられます。財政厳しい我が市にとって、国とのパイプは、命綱に他ならないと思います。今後、新政権に対してどのようなスタンスで、どのような人脈のパイプで、どのようなアプローチをしていくのか、考えを伺います。

市長 新政権の明確な方針等が、まだ示されていません。今後、国政の動向を注視しながら的確に対処するため、最善の努力をしていきたいと思えます。

質問 マスコミ等では、新政権はこれまでの自公連立政権10年の尻ぬぐいとも言われています。この10年はどういう10年だったでしょう。10年前、国は20年前のバブル崩壊後の不良債権処理にもがきにもがき、少子高齢化に向かう準備に追われていた状況でした。10年前、私が議員になる前に、高萩市は現在大きな問題である住宅公社、開発公社の負債の問題と、ゴミ処理の問題はすでにあったのであります。ですから、直近の事象だけをつまみ上げ、いかにもそこに原因のすべてがあるように批判しても、的はずれな議論になってしまします。

吉川道隆 議員

萩っ子の育成について

1、サマージャンボリーと歴史探検隊は、育成会連合会が主になってやっていることなので、子ども会に入っている子供しか参加できない。しかし、子ども会に入っている子は年々減っている。そうすると、夏休みの野外活動の体験をできる子供が減っていることになる。育成会事業とは別に、多くの子供を対象にそういう体験ができるよう、市独自の事業として何が行わないか？

教育長 市内の子ども会の加入率は、全体で65・8％。前年より少し上がっている。これから、子ども会に入っていない子どもも参加できる事業をどんどん増やしていく予定。星やホテルの観察会、収穫体験、料理教室など。今年度中に萩っ子育成事業を新たに設ける予定。長久保赤水先生にちなんだ活動を予定している。

2、次世代の萩っ子の輩出は、何を目的に、どのような取り組みを行っていくのか？

市長・教育長 答弁なし

3、公立幼稚園における、スイミング指導の取り入れについて、その後はどうなったのか？公立幼稚園の園児募集は遅いのではないのか？私立は夏前からPR、説明会が始まっている。私立に流れないように早く対応すべきではないか？

教育長 スイミングは民間スクールから六月に申し入れがあり、スクールと各幼稚園と教育委員会で協議した。現在、実現に向けて開始時期や内容等について調整の段階。園児募集は十月の市報に載せる。ポスターを早めに各地区に貼って園児獲得に向けての努力をしていきたい。

4、花火について
①去年から中止となったが、だれもががっかりしている。子供たちに間近で見る花火を体験させてあげたい、夏の一番の思い出作りとなる。また、まちの魅力づくりにもなる。市民は「高萩はお金がないから花火もなくなった」と思っている。身の丈に合った、規模を縮小してもいいから、何とかやれるように考えてほしい。予算的、人的にもやり方次第。

市長 商工会、観光協会等4者において事務局体制の維持が困難だからということでは中止になった。市が主催となっては考えていない。民間の方や市民の団体がやるのに対しては、市は出来る限り協力する。

②来年には、是非やれるように検討して、観光協会・民間の団体等に働きかけをしていただきたい。

5、全国学力テストは、様々な問題もあるが、地域の子供がどの教科・分野が苦手なのかをよく把握、子供にフィードバックして、重点をおくなど独自の教育を取り入れてほしい。

市長・教育長 答弁なし

菊地正芳 議員

雇用創出事業について

「緊急雇用創出事業」と「ふるさと雇用再生特別基金事業」この2つの事業は、100年に一度と言われている経済危機にあつて、多くの方々が職を失い、大変に厳しい生活を強いられる事に對して、一時的ではあるが、雇用の緊急創出を図る事を目的とする事業であります。

我がまちの実態をつかんだ上で、我がまちの現況に即した施策を展開し再出発の後押しをしなければならぬと思うが見解を伺う？

運転免許自主返納支援について

高齢者は身体機能の低下などにより事故を起こす可能性が高まるため、運転免許の返納を呼び掛けることは非常に重要である。既に、警察庁では平成10年から自主返納制度を始めています。

県内つくば市では、運転免許証の自主返納者にバス乗車回数券と交通安全グッズセットを進呈する支援事業を始め、実績が上がっています。

また他の自治体ではタクシー乗車賃を1割引きにする制度・写真付き住民基本台帳カードを無料で交付するといったサービスを展開しており自主返納の促進に繋がっています。

ぜひ高萩市においても他自治体を見習い、地域性にあったサービスを提供し、高齢者の運転免許の自主返納

を促す必要があると考えますが見解を伺う。

尚、この施策はあくまで自主返納の促進を目的にしておりますので、高齢者でも運転に自信があるという方もおられます、また記念に所持していたいと言う方もおられますし「車を運転出来ない」と生活が不便」との声もありますので、決して強制するものではありません。

母子感染予防について

今回は、妊婦健診時におけるHTLV-1抗体検査の導入と勧奨についてであります。HTLV-1ウイルスとは、ヒトT細胞白血病ウイルス1型の略で、致死率が高い成人T細胞白血病、略してATLを引き起こしたり、脊髄の神経が徐々に破壊され、歩行障害や排尿困難などの症状が出るHTLV-1関連脊髄症、略してHAMを引き起こすウイルスの事です。何よりも重要な事は、このHTLV-1感染症に対する根本的な治療法はなく、母子感染を予防できるワクチンは、残念ながら現在のところ存在しません。

したがって、その感染予防が最善の方法だと言う事であります。一日も早く行政が主導して抗体検査の拡大を図るべきであります。

また、母子手帳配布時にウイルスについての知識や抗体検査を受けるよう勧奨するチラシを作成して配布出来ないか伺う。

議案質疑

第3回定例会に提案された議案に対して次の質疑がされました。

議案第40号 高萩市衛星通信記念公園の設置及び管理に関する条例の制定について

中井信行 議員

IEEマイルストーンという米国の権威ある賞を受けた事業所があった所で私たちも大変誇りに思っています。この跡地利用に関しては、市でもいろいろ調査研究され、今回表明されました。市民の生涯学習の場などと言われていますが、もっと大きなスケールのことを考えていました。内容についてお聞きしたい。また、日立市との連携を図ることが計画されていましたが、どうして単独で独立した条例の制定となったのですか。

教育次長 憩いの広場ゾーン、スポーツ広場ゾーン、教育・研究・地域連携ゾーンなどで構成されるこの跡地利用は、市民生活向上を目指すものです。日立市との連携も協議を進めてきましたが、明確な方向性が現在見出されていません。今後とも話合っていくこととしています。

議案第47号 平成21年度高萩市一般会計補正予算

平 正三 議員

高萩駅バリアフリー化設備整備事業として3500万円予算化されているが、事業目的、内容、事業費の総額、補助金の支出理由、工事予定を伺いたい。

建設経済部長 高萩駅構内に高齢者や身体障害者のスムーズな移動のため、エレベータ2基をホームに設置するものである。合わせて、障害者のトイレの工事も含む。

事業主体はJR東日本で、事業年度は平成21年度から22年度にかけて行う。総事業費は3億5000万円。地元自治体と国が、鉄道事業者に対して支援することになっていることから費用負担するものである。

今川敏宏 議員

地域情報通信基盤整備事業の内容、光ファイバー施設後の想定する事業、施工業者、民間通信会社との関係、経済効果、市の事業とのリンクを伺う。

総務部長 総務省では2010年までに国内のブロードバンドゼロ地区を解消し、デジタル新時代に向け、情報格差を是正するものであり、電気通信業者による整備が見込めない旧高岡地区に、国の交付金及び起債

制度を活用し、光ファイバーを敷設整備するもの。メリット・効果としては、里山づくり推進のために重要で、インターネット環境の確保、地上デジタル放送難視対策、携帯電話不感対策、遠隔医療、保健指導、緊急防災情報の提供体制の整備による安心安全対策など、地域住民への行政サービスの充実である。

市内に電気通信業者はないので、専門業者に発注することになる。

民間通信会社へは有償で貸し出すことになる。

その他の施策については今後の課題である。

菊地正芳 議員

総務費の中で経済危機対策分の低公害車購入事業について、これは、やはり一番稼働率が高い部署に配置しなければ購入の意味がありませんし、使用する事でPRにもなりますので伺います。

購入目的・車種・配置課・エコカー減税の適応はあるか？

総務部長 現在、高萩市では、消防車両を除き78台の公用車を保有しているが、その中の2台を環境負荷の少ない車へと更新を考えている。管理は財政課で行い、車種については今後検討してまいります。交付金対象事業であるため減税の対象にはなりません。

質問 車種の検討であるがエコカーは多くのメーカーがあるので十分に検討をして頂きたい。業者選定についても「経済危機対策費」でありますので地元還元できる経済効果が上がるような形で検討していくべきである。

総務部長 購入に際しましては、提案を踏まえ十分に検討してまいります。

中井信行 議員

住宅手当特別措置について、新規で424万8000円計上されていますが、その内容についてお聞きします。

市民生活部長 離職者であって就労能力及び意欲のある人のうち、住宅を喪失している人、又は喪失するおそれがある人に対して住宅手当を支給し、就労機会の確保を支援します。

議案第62号 高萩市議会議員の政治倫理に関する条例の一部改正について

今川敏宏 議員

地方自治法などの上位法が制定されている中で、地方自治体の条例によってさらなる制限を加えようとする政治倫理条例は、人権を侵害するおそれがあると思われる。提案者の人権に対する考えを伺う。

舟生佳紀 議員

地方公共団体が、競争の方法によらないで任意に特定の者を選定し、その者と売買、貸借、請負、その他の契約をすることを随意契約という。一般競争を建前とする契約方法の特例方式である。議員の職業を利用して、地方団体から利益を受けてはならない。議員として議案審議に参加するため、議会運営の公正を確保と事務の執行の適正化のため随意契約はやめるべきと今回提案した次第です。

**議案第63号 高萩市国民健康保険
除税条例の一部改正について**

今川敏宏 議員

国保の国保税を軽減するために一般会計からの繰入金を投入する方法があるが、繰入金には法で認められた法定繰入金と法定を上回る法定外繰入金がある。高萩市は法定繰入金は充て込みであるが、さらなる法定外繰入金を投入するための考え方と財源を伺う。

平 正三 議員

この条例が可決されれば、12月1日施行となる。財源として、当面、基金の繰入を行い、その後は、財政調整基金の活用を行う。市の行う事業は、特定の人を対象にした事業が多い。市の財源を投じ、市民の暮ら

しを守るために国保税の引下げを伺いたい。

**議案第64号 高萩市議会議員の
政治倫理に関する条例の一部改
正について**

今川敏宏 議員

地方自治法などの上位法が制定されている中で、地方自治体の条例によってさらなる制限を加えようとする政治倫理条例は、人権を侵害するおそれがあると思われる。提案者の人権に対する考えを伺う。

吉川道隆 議員

地方自治法においては、議員単独に対してのみの倫理条例になっているが、高萩市の場合、3親等、そのほかの自治体も2親等、3親等となっているのは非常に厳しいと感じている。ただ、自治体に対する取引がすべてではないはずで、いろんな視野で企業努力をして、他の方面において広げることでカバーすればいいのではないか。人権云々という観点からは離れているのではと思っている。

第3回臨時会に提案された再議に対して次の質疑がされました。

**議案第63号 高萩市国民健康保
除税条例の一部を改正する条例
の再議について**

平 正三 議員

議会で国保税の引下げ条例が過半数で可決された非常に重い議決と思う。再議になれば、議会の3分の2以上の議決がなければ可決されない。市長は否決されると見越して再議をかけてきたと思う。議会の過半数による議決に対して、どのように認識しているか。

市長 議会の過半数を得た可決は、大きいものと受け止めている。しかし、地方自治法に付与されている首長の権限で再議の請求をした。

質問 平成19年度、20年度の決算を見ると、実質9000万円の黒字である。国保税引き上げによる増収は約2700万円、決算から見れば国保税の引き上げは必要なかった。市長 現状において税率を引き下げる状況にない。

質問 国保税引き下げで暮らしを守る、暮らし優先の市政に切り替えるべきである。財源的にゆとりがある。一般会計実質9億円の黒字、財政調整基金約8億円、主な積立金約20億円、これで約2700万円の国保税引き下げできない理由は何一つない。

討 論

○平成21年陳情第2号 高萩市議会議員定数の削減に関する陳情
○平成21年陳情第3号 高萩市議会議員の議員報酬及び期末手当削減に関する陳情
○平成21年陳情第4号 高萩市議会行政視察見直しに関する陳情

賛 成 討 論

吉川道隆 議員

議会改革検討特別委員会ではすべて否決となった。反対意見によれば、議員定数は県内で定数18が最も少なく、法定定数から見ても削減率は高い。しかし、私は規模も財政状況も違うので単純に比べるのではなく、高萩市独自で進めていくべきだと思う。

平成20年度は黒字決算でも単年度決算の場合のみの計算で行財政健全化計画で市民が協力してきた成果。一番の問題は、住宅公社。平成25年度には、現在の売れ残った資産および負債額が約50億円、高萩市にのしかかってくるので、行政努力を続ける姿勢は非常に大切。繰越したお金は予算化するのだから今まで通りの健全化でやっていかなければ、収入が支出に追いつかない。今の経済状況を考えれば、住宅の分譲が予定どおり進むということは非常に難しい。

市民、市役所職員がみんなて苦勞してやっと叩き出した繰越金。議員も改革していくべきである。

政権が変わり、システムも変わる。地方分権を進める中で財政の問題も、どうなるかわからない。幸い、原口総務大臣、前原国土交通大臣が松下政経塾出身であるから、市長は大いに国とのパイプを活用してほしい。状況はますます厳しくなる。議員自ら身を削って市のため市民のために尽くすべき。

反対 討論

平 正三 議員

行財政健全化計画案で懸念されていた国の財政健全化法の早期健全化団体に該当する4つの基準、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれにも該当しませんでした。

また、行財政健全化計画案と平成20年度一般会計決算書の結果の比較では、歳入は行財政健全化計画案では82億6200万円、決算では88億5100万円となり、5億8900万円の歳入増となりました。歳出は行財政健全化計画案では88億300万円、決算では83億6200万円となり、4億4100万円の歳出減となりました。歳入増と歳出減を合わせますと、財政のゆとりが10億3000万円の多額となり、その結果、財政調整基金は行財政健全化案の2

億5900万円に對して、5億2800万円増の7億8900万円となりました。

このように行財政健全化計画案で示した財政計画は、誤りであることが平成20年度決算で明らかになり、3件の陳情書は、平成20年度高萩市の各種決算書の結果から陳情の理由に根拠のないものと考え反対するものです。

議案第47号 平成21年度高萩市一般会計補正予算

賛成 討論

鈴木英樹 議員

ご承知のことと思いますが、今回の補正予算案は、大きく2つの要素を取り込んだ内容となっています。

1つは、高萩市が先送りしてきた事業、市民生活の充実を図るため、国の交付金にて行う事業を計上しているものです。

2つに、特別職や職員の給与カット分2%を還元しようとするものです。補正予算額4億3000万円の増額のうち、経済対策に係る国庫支出金3億5000万円を占めるものです。

土木費で、「駅前から安良川カンセキ前」までの舗装改修事業、「高萩陸橋」の全面改修、駅構内のエレベーター設置など大型事業であります。教育費では、松岡小学校校舎改

築事業に国庫金の増額、地上デジタル機器購入、小・中学校の耐震化推進経費、その他、旧高岡地区を対象とする地域情報通信基盤整備事業として計上してあります。また、市民の健康に関わる乳がん検診、子宮がん検診、インフルエンザ予防対策経費等も計上されております。このような補正予算を否決することになれば、被害を受けるのは市民なのです。この事を十分ご理解をいただき議員各位の賛同いただきますようお願いいたしますして私の賛成の討論といたします。

賛成 討論

田所和雄 議員

今回の一般会計補正予算は約4億3000万円を増額する補正予算です。この補正は、緊急経済危機対策として国から交付される臨時交付金を使って、地域の活性化を図り、市民生活を守るための予算です。歳入の主なもの、国庫支出金の約3億5000万円です。

歳出の主なものは、情報通信基盤整備により山間地域の振興を図るために約2億円。衛生費では、乳がん、子宮がんの検診経費、インフルエンザワクチンの購入費が含まれております。土木費では、市道の改修工事に7640万円。これは市内の企業の活性化に役立てるものです。また、3500万円で、高萩駅のホームの

階段にエレベーターを設置する事業も入っています。教育費では、高小・東小・松小の耐震化診断に約2100万円。高中・松中の耐震化診断に約1700万円計上してあります。山間地の振興を守る予算。女性の健康を守る予算。安全安心な市道を整備する予算。お年寄りや障害者にやさしい駅をつくる予算。児童生徒の安全を守るなどの重要な予算です。今やれば、市民の税金をほとんど使わず国の交付金を使ってできます。地域の活性化を図るため、市民の安全な生活を守るため、補正予算に賛成します。

議案第52号 平成20年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について

反対 討論

平 正三 議員

駅前シンボル建設は、高萩駅前シンボルづくりアドバイザー謝礼として20万円を支出しているが、議会と市民の理解を得られず事実上中止、高萩中央跨線橋エレベーター設置事業は、先送りとなり設計委託料1657万2402円の支出が事実上無駄となりました。平成20年度は連絡員報償費（常会長手当）、ごみ分別推進報償費など数多くの市民サービスのカット・廃止が行われました。福祉バスは、市民から寄せられた寄

付金1205万円と市負担金1866万円、合わせて3071万円で購入されたものです。福祉バス購入に多くの寄付を寄せてくれた市民にも、市民の代表である議会にも一言の相談もなく、福祉バス売却が行われ生涯学習活動などに大きな支障をもたらしています。

このように、行財政健全化計画案に基づいて実施された平成20年度一般会計予算は、市民の暮らし、福祉を脅かすとともに、地域コミュニティ社会の崩壊をもたらし、市民の元氣と活力を失わせた予算であったと言わざるを得ません。

議案第62号 高萩市議会議員の政治倫理に関する条例の一部改正について

賛成 討論

平 正三 議員

現在ある高萩市議会議員の政治倫理に関する条例は、平成11年12月24日に議決され、議員が行政に対する私的な干渉及び利害を求めることを厳しく制限し、行政をゆがめることのないよう議員の道義的責任を強く求めたものです。

市民のさらなる信頼を得るべく、今回、高萩市議会議員の政治倫理に関する条例の一部改正を行うことは、非常に重要なことであり、心から賛成するものです。

議案第63号 高萩市国民健康保険条例の一部改正について

賛成 討論

中井信行 議員

あらゆる格差が広がっています。勤労者の雇用不安や、賃金の低下は暗い状況を伝えています。今ほど身近な地方自治体の存在価値が求められていることはありません。市民の盾になって生活を守らなければいけないのです。このような中で、私は市民の健康を守る国民健康保険税の引き上げを続けることに反対します。

この保険は所得の少ない市民が多く加入している医療保険制度で、運営については国の重い責任があります。しかし、国はこの保険制度維持のための支援を年々後退させてきました。現在、地方自治体への国庫支出金の割合は、約50%に引き下がったままで、この減額が大きな負担となっています。国民皆健康保険制度という良く出来た制度の存続が危ぶまれています。国の手厚い援助がなければ成り立たなくなっています。このような背景の中で本市が一般会計からの支出を避けて直接市民の国民健康保険税で対処しようとしていることは理解できません。制度の本質を見ないで、一地方自治体の財政再建のための手法として安易に公共料金の値上げが進められていることは、本当に遺憾です。

陳 情 の 書 式 例

〇〇〇に関する陳情

陳情者
住所氏名

印

連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し外何名とする。

趣旨

平成 年 月 日

高萩市議会議長 〇〇〇〇〇あて

請 願 の 書 式 例

〇〇〇に関する請願

紹介議員氏名
請願者
住所氏名

印

印

連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し外何名とする。

趣旨

平成 年 月 日

高萩市議会議長 〇〇〇〇〇あて

議会へ請願（陳情）される方へ

○議会への請願（陳情）することのできる事項は、市の行政に関するもの、国や県の施策などを要望しようとするもの、議決事項に関するものなどで、だれでも請願（陳情）することができます。

○請願には、紹介議員が1人以上必要となります。紹介議員の署名又は記名押印を受けてください。（紹介議員がいない場合は陳情書としてください。）

○請願（陳情）は、いつでも受け付けますが、各定例会（3月、6月、9月、12月）の開会3日前までに提出されたものについて、当該定例会で審議します。

○道路・河川・側溝など場所に関するものについては、請願陳情箇所が分かるように、案内図や略図等をつけてください。

○件名、内容、提出年月日、提出者の住所・氏名を記載し、押印（拇印不可）のうえ提出してください。

○郵送により提出された陳情は審議されません。

第3回定例会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
議案第39号	高萩市教育委員会の委員の任命について	原案同意
議案第40号	高萩市衛星通信記念公園の設置及び管理に関する条例の制定について	議案撤回
議案第41号	高萩市議会議員及び高萩市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第42号	高萩市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び高萩市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原案否決
議案第43号	高萩市職員の給与に関する条例の一部改正について	修正可決
議案第44号	高萩市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第45号	中戸川辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第46号	大能辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第47号	平成21年度高萩市一般会計補正予算（第3号）	原案否決
議案第48号	平成21年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第49号	平成21年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案否決
議案第50号	平成21年度高萩市水道事業会計補正予算（第1号）	原案否決
議案第51号	平成21年度高萩市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	原案否決
議案第52号	平成20年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について	原案否決
議案第53号	平成20年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案否決
議案第54号	平成20年度高萩市老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第55号	平成20年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案否決
議案第56号	平成20年度高萩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第57号	平成20年度高萩市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第58号	平成20年度高萩市水道事業会計決算認定について	原案可決
議案第59号	平成20年度高萩市工業用水道事業会計決算認定について	原案可決
議案第60号	高萩市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第61号	平成21年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第62号	高萩市議会議員の政治倫理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第63号	高萩市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第64号	高萩市議会議員の政治倫理に関する条例の一部改正について	原案否決
意見書案第4号	「気候保護法（仮称）」の制定を求める意見書の提出について	原案決議
意見書案第5号	介護型療養病床廃止中止を求める意見書の提出について	原案決議
意見書案第6号	保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書の提出について	原案決議
意見書案第7号	介護保険に関する意見書の提出について	原案決議
意見書案第8号	教育予算の拡充を求める意見書の提出について	原案決議

第3回臨時会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
	議案第43号 高萩市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の再議について	否 決
議案第65号	高萩市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
	議案第63号 高萩市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の再議について	否 決
議案第66号	平成21年度高萩市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第67号	平成21年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決

請願・陳情の審議結果

件 名	結 果	件 名	結 果
高萩市議会議員定数の削減に関する陳情	不採択	介護型療養病床廃止中止を求める陳情	採 択
高萩市議会議員の議員報酬及び期末手当削減に関する陳情	不採択	「保険でよりよい歯科医療」の実現を求める陳情	採 択
高萩市議会行政視察見直しに関する陳情	不採択	介護保険に関する陳情書	採 択
「気候保護法（仮称）」の制定を求める陳情書	採 択	教育予算の拡充を求める請願	採 択

傍聴においでください



本会議は一般に公開され、気軽に傍聴ができます。議員の活動や施政の方針・経過など実際に見聞きしてはいかがでしょうか。本会議の当日、市役所玄関受付で住所・氏名を書いていただき、傍聴券を受け取り、係員の指示に従って傍聴してください。

各委員会は、委員長の許可により傍聴できます。

傍聴席の数は、本会議が40席、各委員会が10席程度です。

次回の定例会は12月です

平成21年第4回高萩市議会定例会は、次のとおり開催される予定です。

12月4日（金）本会議 議案上程	12月14日（月）文教厚生委員会
12月7日（月）本会議 一般質問	12月15日（火）総務委員会
12月8日（火）本会議 一般質問	12月17日（木）本会議 採決
12月10日（木）本会議 議案質疑	
12月11日（金）建設経済委員会	

日程等が変更になることがあります。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

議員とは、議論をする人と言われていると思います。私が24年前、議員になりたての頃は、一般質問は政党出身の議員が3、4人で1日で終了。現在は10人近くの議員が2日間、にわたり一般質問を行い、今昔の感があり、議会の活性化がなされてきたと感じております。

議会だより、市役所ロビーでの議会のモニター放映も議会活性化の大きな要因と思われます。

出来るなら、もう一步進め市内の施設で開会している議会を放映して市民の人たちに見ていただく日がくることを願っております。

（舟生佳紀 記）



議会だより 編集特別委員会

委員長 鈴木 英樹
副委員長 菊地 正芳
委員 大田 吉舟 大森 所川 足光 要二
大田 吉舟 大森 所川 足光 要二